

3 DXの推進×PBL(問題解決型学習)

産官学連携教育 DX で、自ら探究し学ぶ子どもたちを育てていく

磐田市は、産官学連携教育 DX を推進することで、子どもたちが自分自身で地域や社会、身近なところから課題を発見し、自ら選択・判断・収集・表現・発信する PBL(問題解決型学習)を充実させていきます。

そのため、今年度から「探究的な学び研究会」を立ち上げ、令和 7 年度までの3年間で研究、実証を実施します。

令和 5 年度は、探究的な学びの実態把握、分析、実践的な検証に取り組みます。

1 「探究的な学び研究会」のメンバー

研究会メンバーは、学校現場の教員(研修主任)5名を中心とし、校長代表の2名を含めた7名です。

なお、研究会のアドバイザーとして、豊富な実践事例をもつ教育見識者として大学教授2名(静岡大学、國學院大学)、教育 DX 分野で先進的な取組事例を有する企業人材2名にもアドバイザーとして参加いただきます。

2 探究的な学び研究会の内容

令和5年度は、「課題設定」「振り返り」に焦点を当て、それらを充実させるポイント(環境設定、視点、ICT活用等)を研究します。

具体的には、子どもたちが1人1台端末を活用し、自ら地域や社会の課題を発見・解決にむけて主体的・協働的に学ぶための授業の展開について研究します。

3 今後のスケジュール

- 5月30日 第1回探究的な学び研究会開催 ※年4回開催予定
- 6月以降 探究的な学び研究小委員会開催 ※年6回開催予定
- 7月 探究的な学び研修会(市内全研修主任参加)
- 11月 提言作成
- 2月 提言を定例教育委員会で報告



※PBLとは、Project Based Learning の略